

# PROJECT

新科目「プロジェクト」

“実践型”の学びを通して  
社会で活躍できる  
自分になろう!

チームメンバーと協力し、  
本気で価値を生み出していく。

地域社会や企業、他大学など、学外のさまざまな団体とも連携・協働しながら、プロジェクト活動に取り組む科目、その名も「プロジェクト」が、本年度より開講される。本年度立ち上がる8つのプロジェクトで取り上げられるのは、私たちが暮らす地域社会やこの大学にあるリアルなテーマ。課題の解決や、新たな価値の創出が目標として掲げられるのも、通常の科目とは異なるユニークな点だ。

そのため授業スタイルも、学生たちが主体となって現場に赴き、そこで体感したことをもとに計画や方法を定めて実践する「アクティブラーニング」となる。「学んだことが社会でどう役立つか」を知るうえでも、社会で求められる「課題発見や企画立案、プロジェクトを推進していくための力」を養ううえでも、実りある活動となるだろう。

対象は全学生。ただし、履修するには1月に開催された説明会への参加等が条件となっている(1年生対象の「プロジェクト入門」については履修登録時に選択可能)。

# OSNet

Otemon Study-support Network

目的に合わせた学習支援。  
まずは気軽に相談しよう!

自分にとって必要な学びを  
レベルに応じて補い、伸ばす。

「OSNet(Otemon Study-support Network)」が、昨年11月から始まっている。昼休みや授業の空き時間を利用して、学生個人の学力をそれぞれの目標やレベルに応じてサポートしようという取り組みだ。

現在10のテーマで授業が組まれているが、方向性は大きく2つに分けられる。ひとつは、英語・数学・文章表現などの基礎学力を見直し、向上させていくためのもの。もうひとつは、教職・就職・進学などの試験で必要となる科目を学んでいくためのもの。どちらも、短期間にコツや要領を得るためのものではなく、計画的、継続的に学習していくことが趣旨となっている。

ただし、進路を決めてから基礎学力と必須科目を同時にレベルアップさせていくのは、至難の業だ。なるべく早いうちから、段階的に取り組んでいくことが望ましいだろう。

各授業に対象学年はなく、学期途中でも随時申込できるので、自分に足りない学力や必要となる科目が判ったら、すぐにも学習支援室や教職支援センターで相談してみよう。

## ● 基礎学力アップをサポート!

高校で学んだ内容の復習や見直し、講義内容の理解に必要な知識・学力の習得を支援する。

### 1 英語学習相談

英語学習における相談窓口となる場。「授業の英語がよく分からない」「基礎から英語を見直したい」という学生に、教材の選び方や効果的な学習方法から指導。英語=不得意な科目、とらぬよう丁寧にサポートしていく。

### 2 英語基礎 I・II・III・IV

「高校卒業時点から、英語の実力がなかなか上がっていかない」と感じる学生を対象に、レベルに応じた着実な英語力アップが図れるよう、個人または少人数でのグループレッスンを行っていく。

### 3 文章の書き方相談

高校までの「作文」や「感想文」ではない「レポート」「論文」の書き方について、基礎的な文章表現を中心にレクチャー。個別の添削指導も行っていく。

### 4 数学学習相談

数学学習における相談窓口となる場。経済・経営学部をはじめ、文系学部でも必要とされる数学への「理解できない」「高校で習っていない」という不安を解消し、スムーズな受講を支援していく。

## ● 進路試験の学習をサポート!

留学や進学、教職や就職など、進路選択にあたって求められる科目の学習を支援する。

### 5 TOEIC Bridge 講座

「TOEICへの架け橋」と名付けられた「TOEIC Bridge」の教材をもとに、初・中級レベルの英語力を確実に習得していくことを目的とする講座。留学や進学、就職に役立つレベルへの学習ステップとして有効に学べる。

### 6 就職に役立つ文章講座

就職活動に際して必要となる「エントリーシート」や「論文」の書き方をはじめ、新聞の読み方などもレクチャー。社会人としてもあらゆる場面で求められる日本語表現・文章力のレベルアップを目指していく。

### 7 数的分野対策SPIセミナー

就職試験に広く用いられる適性検査SPIの最新版である「SPI3」。そこで必ず出される数的分野(数学・物理・資料解釈など)について、基礎レベルまでさかのぼり、苦手な人にも解りやすく段階的に指導していく。

### 8 基礎の地理I アタックセミナー

社会科教員志望者を中心に、「地理」を学んでいくセミナー。地形や気候、人口などの基礎的な内容から試験での出題レベルに至るまでを網羅的に学べる。高校で「地理」を選択していなかった学生にも丁寧に指導していく。

### 9 教職 アタックセミナー

教員志望者に採用試験へ向けた対策プランをアドバイスしていくセミナー。「一般教養」の座学による学習指導はもちろん、面接練習や模擬授業といった、本番を想定した実地指導も行っていく。

### 10 教職支援個人相談

教職支援センターでは、教員就職に関する情報提供や教員になるまでの様々な相談を個別に受け付けており、電話・メールでの予約も可能。また、学校施設でのボランティア「スクールサポーター」の紹介も行っている。

### その他の学習相談

上記時間割以外にも学習や履修に関する質問・相談を受け付けます。学生生活をサポートします。

担当教員 金政祐司先生・田島和久先生  
(学習支援室にて毎日受付)

お問い合わせ・申し込み | ①~③、⑤⑥ ▶ 学習支援室 072-641-9671 | ④、⑦~⑩ ▶ 教職支援センター 072-641-9187



2014年度開講プロジェクト 問い合わせ先 [教育支援課 学習支援・キャリア教育係] 072-641-9155

<p>春秋 追込ミツバチプロジェクト ~ニホンミツバチの飼育・生態観察から、人と人、人と自然のあり方を学ぶ!~</p> <p>【担当教員】 経済学部 今堀洋子</p> <p>学内でニホンミツバチの飼育を試みる。生態観察を続けながら、ミツバチ達を教師として、自然と生命とそのつながりを学ぶ。「蜂蜜を使った商品の開発」、「ミツバチを媒介とした、コミュニティづくり」など学生の興味を軸にした展開も視野に入れる。</p>	<p>香 茨木童子地域貢献プロジェクト ~茨木のために、「茨木童子」をさらに活躍させよ!~</p> <p>【担当教員】 社会学部 橋本裕之</p> <p>茨木のシンボルのひとつ「茨木童子」。新作狂言などの上演を契機とした、さらなる企画の開発を遂行。茨木童子の発信力をさらに高め、地域に貢献する資源としての活用を目指す。</p>
<p>香 トイレ利用困難な方のためのトイレマップ作成プロジェクト ~誰もが安心して外出できるまちへ!~</p> <p>【担当教員】 社会学部 山本博史</p> <p>子育て中の方や車椅子利用者、オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)など、外出先でトイレに困る方々のために、茨木の駅周辺を中心としたトイレマップを作成。一般に公開し、実際に活用してもらうことを目指していく。</p>	<p>秋 商店街アートプラン ~茨木の商店街をアートに変える!~</p> <p>【担当教員】 社会学部 井上典子</p> <p>商店街の活性化プロジェクト。阪急本通商店街の魅力をアートの視点で捉え直し、プロモーション資料を作る。にぎわいある場所の創造を目指す。</p>
<p>秋 茨木ミュージアム構想プロジェクト ~茨木は、まち全体がミュージアム!~</p> <p>【担当教員】 社会学部 橋本裕之</p> <p>学内の「宮本輝ミュージアム」「將軍山会館」の展示企画を活動の基本としながら、魅力的な地域資源の発掘や市内ミュージアムのネットワーク構築など、まち全体をミュージアムと見立てた茨木ミュージアム構想の具現化に取り組む。</p>	<p>秋 学生発案型授業プロジェクト ~あの先生に、このテーマで、こんな授業を!~</p> <p>【担当教員】 基盤教育機構 梅村修</p> <p>SCOT(Students Consulting On Teaching / 教育改善に参画する学生)研修という専門的トレーニングを受けた学生が、教職員と協働して、学生発案の講座を企画、運営していくFD(教員の教育能力開発)活動の取り組み。</p>

基礎を強化? 進路の準備? 社会に貢献?

# ひろがる学び場!

[interview : 戸田瑞穂]

今、追手門での「学び」は変化を遂げている。一人ひとりがレベルアップを図るためのものから、チームで取り組むプロジェクト型のものまで、多様な学びの場が生まれているのだ。

ここでは2013年11月から本格的に始まっている「OSNet」と、2014年4月から始動する「プロジェクト」を紹介する。自分は何を求めているか、自分には何が足りないのかを見極めながら、これからの受講に役立ててほしい。



OTEMON  
NEW  
STYLE  
LEARNING